

平成 27 年 2 月 22 日

## CVV の関西支部認定・支援に関わる面談議事メモ

日 時：2014 年 10 月 29 日(水) 13:30～14:45

場 所：マイドームおおさか 8F 第 5 会議室

参加者：三村 衛 関西支部幹事長

松井 保，藤田昭治，塩野谷洋一，黒山泰弘，川谷充郎（敬称略）

### 1. 経緯

昨年 8 月付け「シビル・ベテランズ&ボランティア（CVV）への認定・支援について（依頼）」の文書に基づき、10 月の主査幹事会および全体幹事会にて審議され、執行部としては新たに組織改編も伴う事案のため、活動内容や今後の活動方針などについて確認して対応すべきであるという意見に集約され、幹事長預かりという形になり、本日の面談となった。

### 2. CVV からの状況説明

最近 10 年間の谷平 勉 CVV 幹事長を中心に活動して来た実績をもとに開催した 9 月の全国大会研究討論会には約 60 名の参加者があり、他支部からも注目された。関西支部傘下団体となると事業報告などを幹事会で行うため、60 歳前半の新たなメンバーの参画で事務局機能の補強を図る。さらに、ボランティア精神旺盛な新たなベテランズの勧誘を一本釣りで進める。来年度、川谷充郎 CVV 元幹事長も復帰予定で（平成 27 年度末、神戸大学定年退職）、今回の全国大会研究討論会にも本部との折衝を含めサポートした。

### 3. 審議内容：CVV が関西支部傘下団体となる場合を想定して

- (1) まちづくりグループの活動状況から、自治体との関わりで関西支部の責任になる可能性があるのではないか。  
→関西支部の名前は出るが、土木学会倫理規定のもとで活動するので、CVV メンバーが責任をもって活動する。
- (2) コンペに出る場合、関西支部の名前が出るが問題にならないか。  
→上記と同様に土木学会倫理規定のもとで CVV メンバーが責任をもって活動する。
- (3) 予算に関連して、これまでの活動においてボランティア謝金および講師料をメンバーが受け取る場合、一部を CVV に寄付してきたが、今後どのように扱うか、別途検討する。